事務事業チェックシート

事務事業No事業名

123 食育推進事業

123 夏

[長期総合計画]	j	
分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	2	健やかな体を育む教育の推進
取組方針	3	食育の推進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
事未四月(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
サポ四万(4)	その他						
	会計	一般会計					
	款	教育費					
会計・	項	保健体育費					
予算区分	目	保健振興費					
	大事業		保健振興事業				
	中事業	食育推進事業					

事業種別	継続			関連個別計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	保健給食管理課	宗 浩二	435-1137
事業実施の根拠法令			-	関連課			

1 事業内容

	L	事業内容							
Γ		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カッ)		全体事業概要			
Γ		健康や食に関心を持たせ、	児童を対象に正しい食事の取	り方や望まし 「食に関心	「食に関心をもち、健康について考えられる子の育成」を研究主題とし、2月頃公募により研究指定校の				
		い食習慣を身につけさせる。	よう、学校給食における食育	を推進する。 選定を行い	翌年度8月頃研究指定校の教員に	こ対し研究講師が講習を行い、	研究指定校は他校の教員を対		
				象に研究発	長会を行う。それに伴う、研究講	師への報償金と研究会資料の印	1刷製本費を支給する。		
1	事								
1	業								
I	事業目的								
ľ									
r		/	令和02年度	令和03年度	Δ±10.4 /π /π	△和05万亩	△-5		
		/	〒和02年度	7 和03千度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
1			食と健康に関する研究会関係	7 77 7 7 7	1 1 1 2 2	7 11 1 24			
				7 77 7 7 7	1 1 1 2 2	7 11 1 24			
			食と健康に関する研究会関係	食と健康に関する研究会関 経費	系食と健康に関する研究会関係	食と健康に関する研究会関係経費	食と健康に関する研究会関係 経費		
77	事		食と健康に関する研究会関係経費	食と健康に関する研究会関 経費 和歌山市教育研究指定校	系 食と健康に関する研究会関係 経費	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食		
Library I	事業な		食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の	食と健康に関する研究会関 経費 和歌山市教育研究指定校 食育関係に伴う、講師報償	系 食と健康に関する研究会関係 経費 の 和歌山市教育研究指定校の食	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と		
	事業为容		食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の 食育関係に伴う講師報償金を	食と健康に関する研究会関 経費 和歌山市教育研究指定校 食育関係に伴う、講師報償	系 食と健康に関する研究会関係 経費 の 和歌山市教育研究指定校の食 金 育関係に伴う、講師報償金と	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と		
	事業为容		食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の 食育関係に伴う講師報償金を	食と健康に関する研究会関 経費 和歌山市教育研究指定校 食育関係に伴う、講師報信 と研究会資料の印刷製本費	系 食と健康に関する研究会関係 経費 の 和歌山市教育研究指定校の食 金 育関係に伴う、講師報償金と を 研究会資料の印刷製本費を支	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と 研究会資料の印刷製本費を支	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と 研究会資料の印刷製本費を支		
E S	事業为容		食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の 食育関係に伴う講師報償金を	食と健康に関する研究会関 経費 和歌山市教育研究指定校 食育関係に伴う、講師報信 と研究会資料の印刷製本費	系 食と健康に関する研究会関係 経費 の 和歌山市教育研究指定校の食 金 育関係に伴う、講師報償金と を 研究会資料の印刷製本費を支	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と 研究会資料の印刷製本費を支	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と 研究会資料の印刷製本費を支		
100 AUX 11 500	事業为容		食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の 食育関係に伴う講師報償金を	食と健康に関する研究会関 経費 和歌山市教育研究指定校 食育関係に伴う、講師報信 と研究会資料の印刷製本費	系 食と健康に関する研究会関係 経費 の 和歌山市教育研究指定校の食 金 育関係に伴う、講師報償金と を 研究会資料の印刷製本費を支	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と 研究会資料の印刷製本費を支	食と健康に関する研究会関係 経費 和歌山市教育研究指定校の食 育関係に伴う、講師報償金と 研究会資料の印刷製本費を支		

2 事業コスト

車業費竿	事業費等 (千円)		2年度	令和0	令和03年度		令和04年度		5年度	令和06年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	23	23	35	12	36	13	37	0	37	(
伸び率	5 (%)	9. 5%	9. 5%	52. 2%	△47.8%	2. 9%	8. 3%	2.8%	△100%	0%	0%
	正規職員	876	797	621	776	898	823	973	0	973	(
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
	小計	876	797	621	776	898	823	973	0	973	C
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
その	か 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
一般財源	〔(税等)	23	23	35	12	36	13	37	0	37	C
所要人数	正規職員	0.11	0.10	0.08	0.10	0.12	0.11	0.13	0.00	0. 13	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		報償金23千円	印刷製本費1	3千円							

3 目標及び実績

<u> </u>	口惊及U [*] 天順							
	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	「食と健康」研修会及び研究発表会の実施回数		目標値	1	1	1	1	1
		回	実績値	1	0	1		
活動			達成度(%)	100%	0%	100%	%	%
指標			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	「食と健康」研修会及び研究発表会の参加人数		目標値	70	70	70	70	70
		人	実績値	30	0	50		
成果指標			達成度(%)	42. 9%	0%	71. 4%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

0 7	DC - 70 1 41.	T (1771 MM)	1 11-47		
事	充実				
事業内容の	現状維持			0	
容の	縮小				
方向	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	生活習慣の乱れ、飽食、朝食の欠食などによる偏った栄養摂取が問題となっており、児童・生徒自身の心身の健康や正しい食品に関する知識及び食品を選択する能力を身につけるためにも食育は重要であるため、今後もこの事業は続けていく。また、コストの削減は難しいと考える
見直し・改善内容	研究指定校の見直しの検討が必要である